

薬剤部だより No.137

山口大学病院薬剤部

2001.6.19

毒薬の保管管理等の徹底について

日頃より、筋弛緩薬(マスキュラックス注、サクシン注、ミオブロック注)等、毒薬の保管管理については、ご協力頂きありがとうございます。昨今、毒薬による事件・事故が多発していることに鑑み、この度厚生労働省よりすべての毒薬についても管理を徹底するよう通知が参りました。つきましては再度以下の点に注意していただくようよろしくお願いします。

1. 筋弛緩薬は従来通り処方箋による調剤を行います。在庫を配置されているところは、受払簿による管理を行って下さい。
2. その他の毒薬に関しても処方箋による調剤を行い、実施しなかった場合は処方箋と共に速やかに薬剤を返却して下さい。
3. 手休部 CCMC、NICU等、在庫を配置している部署は筋弛緩薬同様、受払い、残数が把握できるよう、厳重な管理を行って下さい。

抗癌剤オーダ時(製剤室にて混注)には総水分量に注意!!

計量ミス等を回避するために、製剤室で調製している抗癌剤については、溶解液の種類及び水分量を添付文書に基づき統一しています。また、混注の際には、混注する抗癌剤に相当する量を輸液からあらかじめ抜き取り、混注後は元の輸液の水分量に等しくなるようにしています(上記については、病棟と申し合わせ済)したがって、溶解液が必要な場合はオーダをお忘れないよう、また、輸液の全量を指定したいときには、その旨をフリーコメントにて入力するようお願いします。

Rp) エンドキサン 500mg	1V
エンドキサン 100mg	1V
蒸留水 20mL	30mL
生理食塩水 500mL	1V

蒸留水 25mL で溶解

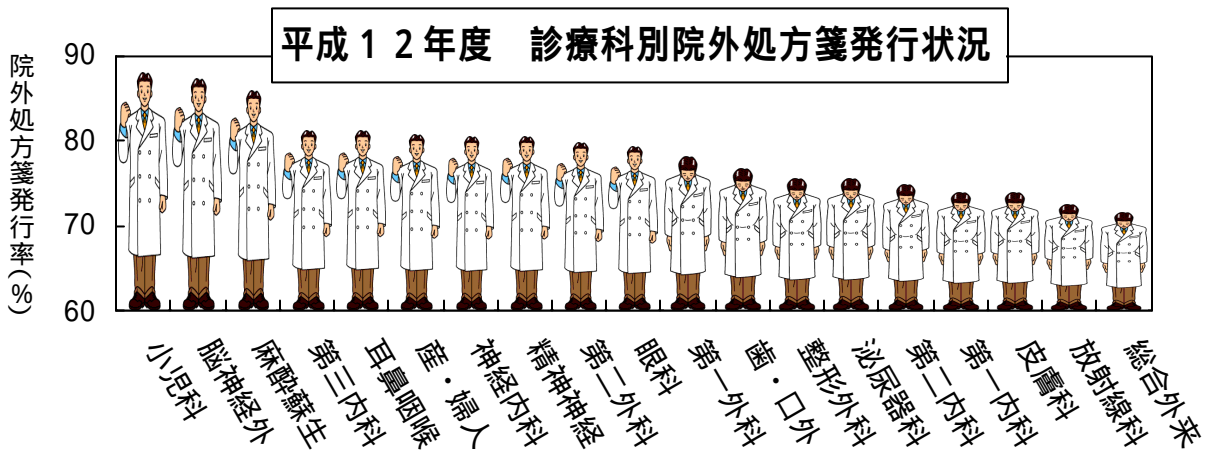
蒸留水 5mL で溶解

30mL をあらかじめ抜いています

輸液の全量を 400mL としたい場合は、フリーコメントで『全量を 400mL に』と入力してください。

事前の話し合いで、上記例に沿わない特定の薬剤、一部の診療科についてはこの限りではありません。

院外処方箋発行推進にご協力下さい！！



当院における平成12年度の院外処方箋発行率は77.1%でした。当院では院外処方箋発行が原則となっています。院外処方箋発行率の低い診療科は今一度見直されると共に、発行率の高い診療科におきましても更なるご協力をよろしくお願ひします。

散剤分包紙印字サービスの対象診療科を拡大しました

薬剤部日より No.134 でお知らせしましたように、散剤分包紙に患者氏名、用法、薬品名等の情報（用量は除く）が印字できるようになりました。このサービスを精神神経科（入院定期・臨時処方）のみでなく、小児科・1-9病棟（入院定期・臨時・退院処方）にも拡大しました。

この印字サービスに関する問い合わせは調剤室(Tel 2669)まで。

03 / **	RP07
定期077	薬袋07
山大 三郎	様
夕食後	
テグレットール細粒 500mg/g	

平成14年度薬剤部研修生募集のお知らせ

下記の要領で平成14年度薬剤部研修生を募集します。

- 研修期間 : 平成14年5月上旬から6カ月間
- 出願期間 : 平成13年9月30日(必着のこと)
- 試験日 : 平成13年10月22日(月曜日)

出願手続き等詳細は、副薬剤部長 石本(Tel 2672)までお問い合わせ下さい。